



JAPAN INTERNATIONAL EXHIBITION AEROSPACE 2012

H-2B launch vehicle is upgraded version of the current H-2A launch vehicle. H-2B launch vehicle has two major purposes, one is to launch the H-2 Transfer Vehicle (HTV) to the International Space Station (ISS), and the other is to respond to broader launch needs by making combined use of both H-2A and H-2B launch vehicles. MHI and JAXA is co-operating in developing H-2B launch vehicle.

H-2B launch vehicle is upgraded version of the current H-2A launch vehicle. H-2B launch vehicle has two major purposes, one is to launch the H-2 Transfer Vehicle (HTV) to the International Space Station (ISS), and the other is to respond to broader launch needs by making combined use of both H-2A and H-2B launch vehicles. MHI and JAXA is co-operating in developing H-2B launch vehicle.

H-2B launch vehicle is upgraded version of the current H-2A launch vehicle. H-2B launch vehicle has two major purposes, one is to launch the H-2 Transfer Vehicle (HTV) to the International Space Station (ISS), and the other is to respond to broader launch needs by making combined use of both H-2A and H-2B launch vehicles. MHI and JAXA is co-operating in developing H-2B launch vehicle.



H-2B launch vehicle is upgraded version of the current H-2A launch vehicle. H-2B launch vehicle has two major purposes, one is to launch the H-2 Transfer Vehicle (HTV) to the International Space Station (ISS), and the other is to respond to broader launch needs by making combined use of both H-2A and H-2B launch vehicles. MHI and JAXA is co-operating in developing H-2B launch vehicle.

JA2012 国際航空宇宙展

基本計画書(抜粋)

is co-operating in develop



(社)日本航空宇宙工業会
支援委託会社選定
提案依頼用



H-2B launch vehicle is upgraded version of the current H-2A launch vehicle. H-2B launch vehicle has two major purposes, one is to launch the H-2 Transfer Vehicle (HTV) to the International Space Station (ISS), and the other is to respond to broader launch needs by making combined use of both H-2A and H-2B launch vehicles. MHI and JAXA is co-operating in developing H-2B launch vehicle.

目次

I . 基本計画.....	3頁
1. (社)日本航空宇宙工業会(SJAC)展示会事業の目的	
2. 展示会の名称	
3. 基本コンセプト	
4. 会催期日(案)	
5. 開催場所	
6. 目標開催規模	
7. 出展対象分野	
8. 重点方針	
II . ロードマップ.....	5頁
III . 添付資料.....	6頁
資料1:会場アクセス	
資料2:各会場の全体図	
資料3:中部国際空港 屋内・屋外展示予定エリア・イメージ図	

I. 基本計画

1. (社)日本航空宇宙工業会(SJAC)展示会事業の目的

国内外の航空宇宙関連企業・団体等を一堂に集めて、トレード・情報交換等の促進を図ると共に、航空宇宙関連産業の振興と航空宇宙産業に対する国民の理解並びに国民生活の向上に寄与することを目的とする。

2. 展示会の名称

2012年国際航空宇宙展 (ジャパンエアロスペース2012/JA2012)

Japan International Aerospace Exhibition 2012 (Japan Aerospace 2012)

3. 基本コンセプト

- ①アジアを代表する国際航空宇宙展示会を目指す。
- ②アジア最大の航空宇宙機器の製造拠点(名古屋地域)で実施することにより、我国の強みである「技術力・生産力」を生かしたトレードショーとする。
- ③近隣空港で固定翼の屋外展示を行うことにより、国内開発機の実力をアピールする。

4. 開催期日

会場	トレード	パブリック
ポートメッセなごや	2012年10月9日(火)～12日(金)※	12日(金)※
セントレア空港	—	～14日(日)

※12日(金)はトレード／パブリックディとしてスチューデント/リクルートディを設定

5. 開催場所

ポートメッセなごや及びセントレア空港(添付資料1を参照)

6. 目標開催規模

- | | |
|------------|--|
| (1) 出展者数 | : 529社・団体以上(22ヶ国以上) |
| (2) 屋内展示面積 | : 20,000㎡以上 |
| (3) 入場者数 | : トレード11,000人、パブリック50,000人 |
| (4) 屋外展示 | : 民間機
(大型機2機、中型機2機、ビジネス機5～10機、小型機10～20機、ヘリ5～10機程度)
自衛隊機
(中大型機5機、その他練習機10機程度)
空港特殊車両 数台 |
| (5) 飛行展示 | : 固定翼機、ヘリ等 |

I. 基本計画

7. 出展対象分野

対象分野	業種・業態
製造分野	航空機、航空機エンジン、無人機、ロケット、衛星、宇宙機、関連機器・装置・部品・素材、電子・通信機器、機内インテリア、座席、映像機器 等
地上整備分野	空港設備・機材、管制・地上局、関連機器・装置、ロジスティックシステム・機器、セキュリティーシステム・機器 等
航空宇宙運用・利用分野	空港、航空輸送、ロケット打上げサービス、通信・放送、リモートセンシング、測位、宇宙環境利用 等
IT・ソリューション利用	ソリューションシステム、設計・加工技術 等
製造整備、サービス、補給分野	工作機械、メンテナンス、検査、補給器材、燃料、消耗品 等
運航分野	エアライン、運航支援会社・組織 等
研究・開発、教育・訓練分野	大学、研究所、パイロット・整備員・管制官・乗務員等の育成学校、共同開発プロジェクト、産官学連携プロジェクト、関連先端技術 等
地域振興・開発分野	国内外自治体、大使館 等
その他関連分野	報道・出版・模型・グッズ・旅行・アミューズメント 等

8. 重点方針 [基本コンセプトを実現するにあたって重視する具体的な活動方針]

①アジアを代表する国際航空宇宙展を目指す。

- (1) BtoBを活性化することで出展者の増加を図る。
- (2) 地球環境保全に関する各種取り組みを紹介し、環境分野でアジアがリードしていることをアピールする。

②アジア最大の航空宇宙機器の製造拠点(名古屋地域)で実施することにより、我国の強みである「技術力・生産力」を生かしたトレードショーとする。

- (1) 日本の民間航空機開発・生産能力をアピールする。
- (2) 日本の宇宙機器開発・生産能力をアピールする。
- (3) 名古屋地域企業の工場視察等を通じて我が国の技術力・生産力の高さをアピールする。
- (4) 教育訓練や人材育成の考え方や取り組み状況を紹介し、若年層の航空宇宙へのあこがれ・希望を喚起する。

③近隣空港で固定翼の屋外展示を行うことにより、国内開発機の実力をアピールする。(パブリック)

- (1) 日本の航空機開発を歴史的に紹介する。
- (2) 空港を活用した固定翼機・回転翼機のパブリック向け飛行展示を行う。

Ⅱ. ロードマップ

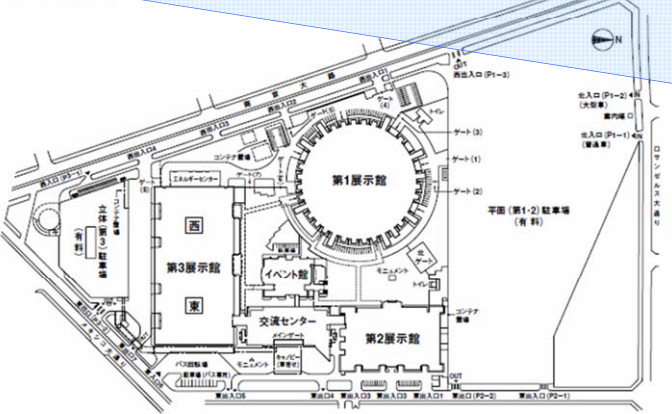
JA2012 国際航空宇宙展 大日程(案)

年度	2010(平成22)年度	2011(平成23)年度	2012(平成24)年度	
期間名	← 出展勧誘期 →		← 来場者誘致期 →	
主要マイルストーン	↑ 出展勧誘開始 ← 出展申込開始(予定) →	↑ 実施計画書策定 ↑ 会場正式契約	↑ 出展申込締切	
主要事項	海外エアショー出展	▽ファンボロー	▽パリ △シンガポ △ILA △ファンボロー	
	SJAC総会	◇総会	◇総会	
	実行委員会の開催	○ ○	○	○ ○
	会期/会場		●確定	
	基本計画等	▼実施計画策定	▼実行計画(実行予算)策定	
補助金	H23要望		H24要望	
広報/勧誘	開催告知(和、英)	告知(和) ▼ ▼告知(英)		
	出展案内制作			
	HP,メルマガ発信	←		
	海外出展勧誘	←	海外出展勧誘作業	
	国内出展勧誘	←	国内出展勧誘作業	
特別関連事業	入場券販売		印刷 ← 販売 →	
	屋外・飛行展示	企画検討	← 調整 →	
	主催者テーマゾーン	〃	← 調整 →	
	セミナー・シンポジウム	〃	← 調整 →	
	パブリックイベント		← 計画・調整 →	
BtoBトレード促進策	企画検討	← 調整 →		
会場設営		▼1次案	▼2次案	
会場運営		▼1次案	▼2次案 ▼運営マニュアル	
予算計画	▼1次案 2次案 ▼		▼3次案 ▼4次案	
			報告書・決算書	

Ⅲ. 添付資料 資料1:会場アクセス

<会場周辺図及び交通アクセス説明図>

ポートメッセなごや



中部国際空港(セントレア)



Ⅲ. 添付資料

資料3: 中部国際空港 屋内・屋外展示予定エリア・イメージ図

中部国際空港 北側駐機スポット周辺図

